



◎ 9月5日(日) 組長会議&敬老の日お祝い品贈呈 [町内会館]

新型コロナウイルスのワクチンが進んでいますが、感染拡大は依然として終息しない中、組長会議は先月に引き続きテイクアウト方式(会館外で資料配布のみ)で実施しました。  
また、この日は敬老の日のお祝い品を各組長経由で対象者(463名)にお渡ししました。



お祝い品準備の様子 2021/9/4

♡ 「東町界隈の今昔探訪」 ~14~

[文:安西 香(27組)、編集:畑中 祐一(38組)]

~十五夜~

9月21日は十五夜です。陰暦の7、8、9月を秋というので、その真ん中(陰暦8月15日)が”仲秋の名月”というわけです。別名”芋名月”とも云われています。

各家庭では、芒や女郎花とともに芋はもちろん、秋の代表的果物の柿や栗、その他を思い思いに供えます。

この日ばかりは、若い人たちは他家の柿や栗などをを失敬しても大目に見られ、おとがめはありませんでした。 次回につづく

[参考] 十三夜

10月18日(陰暦9月13日)の夜、十五夜の月に対して「後の月」と呼び、「芋名月」に対して「豆名月」、「栗名月」と言います。 [日本語大辞典より]



♪「うさぎ」 <\*1>

童謡・唱歌

うさぎ うさぎ  
なに<sup>み</sup>見てはねる  
十五夜<sup>じゅうごや</sup>お月<sup>つき</sup>さま  
見てはねる



♪「月」 <\*2>

童謡・唱歌

でたでた<sup>つき</sup>月<sup>つき</sup>が まるいまるい まんまるい  
盆<sup>ぼん</sup>のような<sup>つき</sup>月<sup>つき</sup>が  
隠<sup>かく</sup>れた<sup>くも</sup>雲<sup>くも</sup>に 黒<sup>くろ</sup>い黒<sup>くろ</sup>い 眞<sup>ま</sup>つ黒<sup>くろ</sup>い  
墨<sup>すみ</sup>のような<sup>くも</sup>雲<sup>くも</sup>に  
またでた<sup>つき</sup>月<sup>つき</sup>が まるいまるい まんまるい  
盆<sup>ぼん</sup>のような<sup>つき</sup>月<sup>つき</sup>が

<\*1> 江戸時代から歌い継がれた日本古謡で、1892年(明治25年)の『小学唱歌(二)』で初めて教材として掲載された。当時は「なに」を「見てはねる」であったが、1941年(昭和16年)の『ウタノホン(下)』から、現在の歌詞になった。

<\*2> 1911年刊行の『尋常小学唱歌』に掲載された文部省唱歌。この曲と歌詞が紛らわしいのが、「月が出た出た月が出た」の歌い出しで有名な『炭坑節(たんこうぶし)』と云われている。

<10月のイベント予定>

- ◎ 10月10日(日)和泉中央連合体育祭[中和田中学校] ⇒ コロナの影響で中止
- ◎ 10月17日(日)作右衛門公園の清掃 ⇒ コロナの影響で中止

(個人情報の取り扱い: 本広報では町会員の写真・名前等を使わせていただくことがあります。何卒ご了承ください。)